

かぶしきがいしゃ にゅーこんこうぎょう

株式会社ニューコン工業

Interview NO.1



研究・開発から製造販売を一貫して自社で行う えどがわが誇る開発型メーカー

取材日:2015年8月25日

会社概要

創業(大正8年)以来、事務用機器の開発・製造・販売を自社で一貫して行う開発型メーカー。

“ユーザーニーズに誠心誠意お応えすること”をモットーに、高品質な製品開発を行っている。現在では、国内にとどまらず世界各国(約50カ国)への輸出販売や、海外製品の輸入も手掛けている。

社是を「和」と定め、経営理念を「顧客第一・創造的挑戦第一・人間第一」とし、自社の企業活動が現代社会における如何なる価値を提供しうるか、また明日への社会進歩に貢献するために一層の努力を行っている。

社長さん紹介



代表取締役社長 近藤 英一郎
Eiichiro Kondo

入社時は貿易担当として活躍され、その後営業部長に就任。貿易部門と共に国内営業全体を統括し、入社15年目で父の後を継ぎ5代目社長に就任。「修行時代は父に必死について回る日々。就任後の7年間も四苦八苦しながら、無我夢中に走り続けていて今もそうだと思います」と、静かに語り「僕の紹介よりも、製品の紹介を全面にして欲しいな」とも。少し恥ずかしがり屋で、とても実直な社長さん。ご自身の事よりも周りの人へ目を配り、気を配る。多くは語らず、一語一語に内に秘める想いが滲み出ているお姿がとても印象的です。

-インタビュー memo -

2児の父でもある社長さんに、休日の過ごし方についてお聞きすると「外出先は、子ども達がより良い経験ができる場所を...と奥さんと相談して決めているんですよ」と、優しい笑顔で語って下さいました。

■ 自社の強みについてお聞かせ下さい。

研究開発から製造・輸入販売まで、全て自社で行えるというのが何よりの強みです。お客様からの声を大切にし誠心誠意、技術と心で応えて来ました。きっと、そこが競合他社にも負けない所だと思えます。また製品を必要としている方々への直接的なPRに注力することで需要と供給にうまく応えることができ、それが結果に繋がっているとも感じています。

さらに当社の強みの一つである技術面では、近藤攻二副社長が技術職として昔ながらの技法と最新式の3DCADを導入・駆使し、併せて牽引してくれていることが大きく影響していると思えます。

-インタビュー memo -

製図を引く近藤攻二副社長さん…写真右
はにかんだ笑顔で「古いのはいいからさ。新しい子のCADの凄い技術を紹介してよ」とお話し、後輩を大切にされている思いが伝わって来ました。



■ 海外展開を積極的に行われていますね。



当社は創業以来、代々家族で会社を守り続けてきた歴史があり事業経営には歴代社長の信念や想いが込められています。

積極的に取り組んできた海外展開についても、貿易事業に参入し始めた頃から、前社長の言葉である「“開発型メーカー・ニューコン工業”の製品を国連加盟国全てに届ける。人がいる所全てがお客さまだと思え！」を旨に取り組んできた結果、着実に取引国を増やし、現在も着々と増え続けています。

-インタビュー memo -

4代目社長(現:近藤昭義取締役相談役)さん…写真左
お取引が増える度に1本づつピンを立てているという世界地図をキラキラした笑顔で紹介して下さいました。

■ 海外展開を含めた事業継承にあたり、どんなご苦労がありましたか？

私が営業部長を務めていた頃、海外展開に向けてプロジェクト化した貿易事業を、国内営業などの他部門と平行して進める必要がありました。あの頃は大変だったと思います。

前社長である父の教えが「私は決して厳しくは言わない。手も口も出さない。とにかくやってこい！」といった感じだったので、自分としては自由にやらせて貰っていたつもりでした。

ただ、今思えば当時から父の頭の中ではしっかりと道筋ができていて“1つできたら次、また次”と示してくれていたのだと思います。目の前の事を1つ1つこなしていったら、いつの間にか色々な事を任せて貰っていた様な感じですね。



-インタビュー memo -

海外出張の時には、できるだけ現地の物を食べるという社長さん。「でもやっぱり、奥さんのお味噌汁が恋しくなるんですね」と照れ笑いしながら、お話しして下さいました。

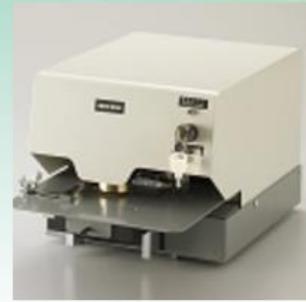
製品紹介



電動2穴パンチ (550枚穿孔)



打抜機 (電動強力タイプ)



業務用シールプレス (電動)

■ ニューコン工業さんならではの製品を教えてください。

当社の主な製品は次のとおりですが、その他にも、契印機・エコロジーファスナー・抹消機・チェックライター・紙幣計数機・紙折機・シュレッダー・抹消機など、様々な事務用文具機器を取り揃えております。また海外からの仕入れ製品の販売や、その修理も請け負っております。

● 主な製品 ●

ー パンチ (電動・手動) ー

紙に穴を開ける機械で、1穴から多穴まで対応ができるほか、ステープル機能を持ち合わせた製品もある。

例… 電動パンチ (穿孔能力: 300枚・550枚)、手動パンチ (穿孔能力: 110枚・165枚・200枚)

ー 打抜機 ー

穴文字により直接用紙に穴を開ける機械で、消去・修正が不可能な為、偽造・改ざん防止に役立つ。

一度に10~30枚の用紙へ打ち抜きが可能な為、数分で何千枚もの即時処理ができ、スタンプに比べ効率的

例… 日付番号・ナンバリング・通帳証券用・固定文字・記号 (マーク・社名など)

ー シールプレス ー

紙に均一なエンボス (凹凸) 加工を施す機械で、各種証明書の割印等のほか、オリジナルデザインにも対応。

例… 業務用シールプレス (手動・電動): 各種証明書の割印、会社・団体ロゴを刻印

パーソナルシールプレス: オリジナルのマークを刻印

プロの技

ニューコン工業の頭脳でもある『R&Dセンター』で設計や開発が行われています。手で引く製図と最新CADを駆使し製品が生まれています。



『打抜機』の重要な部品の切削加工。見ているこちらが息を止めてしまう程、緻密な作業ばかり。真剣な眼差しに、プロの心意気を感じました。



CADから各機械へデータが送られ、板金や成型が行われます。整理が行き届いた工場内は、働く皆さんの凛々しい姿勢にも反映されていました。

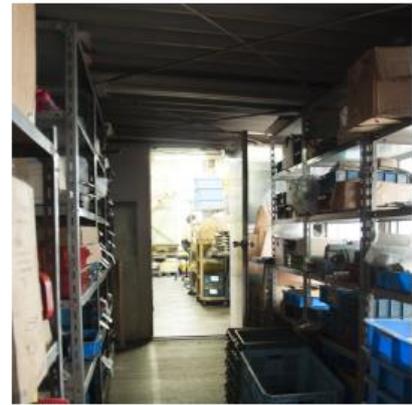


■ 製品の新しいアイデアはどんな時に生まれますか？

お客様からの「こういった商品が欲しい！」という声から生まれる事が圧倒的に多いです。その要望に応えようと誠心誠意努めてきた結果、現在の豊富なラインナップとなりました。

例えば、主力製品の“シールプレス”は「割印として使用するのに、もっと省力化する事はできないか？」というご要望を受け、更なる商品開発を積み重ねて誕生した製品です。

また、最近では「使用済みのクーポンや商品券を無効化する機械を作って欲しい」というご要望から“クーポン抹消機(クーポンカッター)”を製作しました。今では、お取引先から「〇〇を望んでいるお客様がいるよ」とご紹介を頂く事もある程です。



既存のお取引先が手掛ける業務や用途に沿った要望を形にする事は、事業を成功させる上で、とても良い方法だと思います。

ただ、それだけに注力しては飛躍できないことも承知しているため、新しい課題にも積極的に取り組んで来ました。貿易部門は、そういった切り口から生まれた事業です。

ニーズに応え、新たな製品を生み出すためには現場の力がなくては成り立ちません。ものづくりは、上手く行かなかった事はばかりについて目が向きがちですが、私はもっと現場に「ありがとう」「役に立ってます」という声を届けながら新しい製品開発への活力に行きたいと思っています。お客様からの言葉は本当にありがたいものですね。

社内の様子

4階建ての大きな本社兼工場は、それぞれのフロアが各部門に分かれていて陳列された機械や部品など、出荷前の商品が多く見られました。中でも、社長さんが話されていた“強み”の源である「R&Dセンター(設計開発部門)」は会社の頭脳とも言える重要な場所。製図を引く所から始まり、最新CADを駆使した製品の研究・開発が行われています。

各所全ての整理整頓が行き届き、従業員の皆様は笑顔でキビキビと作業に取り組まれていて、歴史あるものづくり企業ならではの“底力”を感じることができました。



■ 今後の展開についてお聞かせ下さい。



当社の主な取引先は法人や官公庁で、今後はセキュリティの重要性から“カード類の抹消機”への需要がさらに高まると考えています。免許証や保険証など重要な個人情報に記載されているカード類には、一定期間の保管義務がありますが、その際に無効処理を施す必要があり抹消機はとても有効だからです。

新規顧客獲得への取り組みとしてはホームページを入り口として「あ！何か面白そうだな。この製品！」と興味を持っていただけるような工夫を、今後も続けて行きたいと思っています。

これまでに築き上げてきた歴史を大切にしながら、まずは創立100周年。そして、その後も自分たちの得意な分野に磨きを掛けながら、一步一步着実に歩んでいきたいと思っています。

株式会社ニューコン工業の皆さま
「えどがわ産業ナビ」インタビューにご協力頂き、本当にありがとうございました。



インフォメーション

所在地 東京都江戸川区中央1丁目8番15号

最寄り駅 JR総武線新小岩駅徒歩15分 [Google Map ▶](#)

電話番号 03-3655-6151 (代表)

営業時間 8:15~17:00

定休日 土日祝祭日

ホームページ <http://www.newkon.co.jp/>



株式会社ニューコン工業TOPページはこちら [▶](#)